

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の学習について】

Q10：登米総合産業高校のカリキュラムの特徴は何ですか。

A：学びのつながり（学科間連携）や地域とのつながり（地域連携）を大切にした学校設定教科「起業プロジェクト」を設定し、より実践的な職業教育を行います。

専門教科では、新しい学校の施設や設備を生かし、将来の登米地域の産業に貢献できる幅広い教育を行います。各学科における「専門性の深化」を図るため、地域企業や地元の方々との協力のもと、3年間継続してインターンシップを実施する方向で検討しています。単に専門知識を覚えるだけの教育ではなく、豊かな心を育てる視点を合わせ持って授業を行います。

普通教科では、将来の進路希望に対応した学力を身に付けさせるため、学力向上の基本となる数学や英語の習熟度別指導を授業の中で行ったり、義務教育段階の学力が十分に身に付いていない生徒に対して個に応じた指導を行い、義務教育段階の学力を確実に身に付けさせ、できる喜びを実感させる学習を展開します。

Q11：学校設定教科「起業プロジェクト」の具体的な内容を教えてください。

A：1年生では産業全般の基礎的事項を全学科共通で学習する「産業基礎（2単位）」、2年生前期には、他学科の特徴的、基本的な内容を選択して学習し、広い視野で自分の専門を見つめ直す「総合選択システム（1単位）」、2年生後期から3年生にかけて、異なる学科の生徒同士でグループを編成して研究に取り組む「起業実践（3単位）」を設定しています。

Q12：学校設定科目「産業基礎」の具体的な内容を教えてください。

A：産業全般についての基礎的事項や、職業生活の基礎となる知識・態度を身に付け、施設・工場見学や、地域の各専門分野の方の講演会等を通して、職業への幅広い興味・関心をもたせます。また、所属する学科以外の基本的な内容を学習し、2年生で実施する総合選択システムの科目選択の参考とします。

Q13：学校設定科目「起業実践」の具体的な内容を教えてください。

A：異なる学科の生徒同士が、身に付けた知識や技術、技能、志を持ち寄ってグループ研究に取り組みます。具体的には、地域企業の方々から地域に関連する課題や地域の資源を生かした「テーマ（課題）」を提示していただき、生徒たちが協力して調査・研究を行うことで社会に通用する適応力や実行力、社会性、コミュニケーション能力、プレゼンテーション力などを身に付けます。

Q14：「総合選択システム」とは何ですか。

A：所属する学科以外の専門科目を選択して学習します。興味関心の幅を広げ、広い視野で自らの専門分野の課題や有効性を再認識できるようにします。各学科とも学科の特徴的・基本的な内容を学習する学校設定科目を2科目設置し、生徒は興味のある科目を選択します。

Q15：教科書は特別なものを使うのですか。

A：基本的には文部科学省検定の教科書を使用しますが、学校設定科目である「産業基礎」や「起業実践」、総合選択システムの学校設定科目については、学校独自の教材を作成して使用します。

=====
Q16：授業の進め方で「TT方式」とはどんな方法ですか。

A：「TT」とは、「チームティーチング」の略称です。2名以上の教員で授業を行う方法です。主に実習科目で行いますが、数学や英語の普通教科でも実施します。実習時における安全面の確保や、学習進度に応じたきめ細やかな指導が展開できる等のメリットがあります。

=====
Q17：「少人数学習」や「習熟度別学習」は実施しますか。

A：農業や工業などの専門学科の実習では、生徒が施設設備を有効に活用し、効率よく実習を行うために「少人数学習」を実施します。また、数学や英語、商業科では、学んだ知識を活用したり、理解力を深めるための「習熟度別学習」を実施します。

=====
Q18：学校の授業だけで勉強についていけますか。

A：学校の授業を基本として、予習・復習をしっかりと行っていれば心配する必要はありません。

=====
Q19：学校の勉強だけで専門性は身に付きますか。

A：各学科とも実習を多く取り入れ、地域の企業と連携しインターンシップを3年間継続して行うなど、専門性を深化させる取り組みを検討しています。福祉科では、介護福祉施設における介護実習を3年間で13単位（約60日間）実施します。それ以外の学科においても、専門科目の基礎的内容から実習まで幅広く学習に取り組み、専門性を身に付けます。

=====
Q20：勉強に後れをとっている生徒への対応として、どんなことを考えていますか。

A：知識に対する理解が十分でない生徒に対しては、義務教育段階の学び直しを行い、あわせて学習習慣の定着を図る指導を行います。長期休業中の指導や、個別に指導を行うこともあります。

=====
Q21：平日の授業はどのように展開されますか。

A：授業の1単位時間は50分で行い、1日6時間授業になります。
なお、実習は2～3時間連続して行い、学習効果を高めます。

=====
Q22：土曜日は休みですか。また土曜日や夏季休業中に活動があるとすればどのような内容ですか。

A：土曜日は原則休みになります。土曜日や長期休業中は主に部活動に取り組みます。文化祭などの学校行事や、資格取得のための講習会なども実施する予定です。

=====
Q23：産業スペシャリストになるために、カリキュラムの上でどんな特徴がありますか。

A：所属する学科の専門性を深めるために、通常の授業に加えて、地域企業と協力して行うインターンシップや、学科間連携をねらいとした総合選択システム、起業実践などの科目を取り入れています。

=====
Q24：既存の高校の「インターンシップ」との違いは何ですか。

A：3年間を通して「各学科主催のインターンシップ」を実施することで、より一層専門性を深めていきます。また、2年生の「修学旅行時のインターンシップ」や就職希望者による「キャリアインターンシップ」など、これまで取り組んできたインターンシップも継続して実施することを検討しています。

=====

=====
Q25：定期テストや実力テストは年に何回実施しますか。

A：定期テストは年4回（6月・9月・11月または12月・2月）、実力テストは年3回（長期休業明け）実施します。

=====
Q26：卒業に必要な単位は何単位ですか。

A：

| 学 科 | 総単位数 | 卒業に必要な単位数 | 備 考 |
|-----------|------|-----------|-------------------|
| 農業科 | 93 | 85 | 放課後や長期休業中に3単位の実習有 |
| 機械科 | 90 | 82 | |
| 電気科 | 90 | 82 | |
| 情報技術科 | 90 | 82 | |
| 商業科 | 90 | 82 | |
| 福祉科（介護類型） | 97 | 89 | 長期休業中に7単位の介護実習有 |
| 福祉科（福祉類型） | 92 | 84 | 長期休業中に2単位の介護実習有 |

なお、福祉科介護類型は、定められた専門科目全てを習得できなければ介護福祉士の受験資格は得られません。

=====
Q27：新しく福祉科や商業科が設置されますが、図書館内の蔵書は学科に対応した内容になっていますか。

A：新たに商業・福祉に関する専門学科関連の図書を購入する予定としており、専門学科の学習に対応した蔵書を揃えることとしています。

=====
Q28：総合的な学習の時間がないのはなぜですか。

A：高等学校学習指導要領により、科目「課題研究」（福祉科にあつては「介護総合演習」）の履修をもって、総合的な学習の時間における学習活動に替え、単位を認定する予定としております。

=====